



# 官民協働海外留学支援制度 拠点形成支援事業活動実績報告資料

# くいしかわ高校生グローバル人材育成推進事業> 令和6年度活動報告

-



## 石川県(いしかわ高校生グローバル人材育成推進協議会)



本事業は、石川県の高等学校、特別支援学校の高等部及び高等専門学校(第3学年以下に限る。)に在籍する 日本人生徒等に対し、諸外国及び諸地域への留学に必要な費用の一部を奨学金・留学準備金として支給するとと もに、留学経験の質を高めるため、留学の前後にオリエンテーションの提供及び留学後の継続的な学修や交流の 場を提供する。本事業では、生徒等が自ら立案・作成した「探究活動」を含む語学の習得を目指す留学を支援し、 派遣留学生は留学先において日本や石川県の良さを発信する「アンバサダー活動」、留学中や帰国後には留学機 運醸成に寄与すべく、留学の魅力や留学で得た体験を周りに伝える「エヴァンジェリスト活動」にそれぞれ取り 組むものとする。

#### 地域協議会基礎データ

#### 【地域協議会代表者】

石川県教育委員会教育長 北野 壴樹

#### 【運営事務局】

石川県教育委員会事務局学校指導課

#### 【地域協議会の構成員及び産学官の役割】

#### いしかわ高校生グローバル人材育成推進協議会

学校等 (学)

企業等 (産)

石川県 (官)

- 大学コンソーシアム石川
- 高等学校長協会

- 学 の役割
- ●高等学校等
- 派遣留学生のサポート
- ●大学
- プログラムへの助言
- 選考委員(計画評価)
- ・事前・事後研修への協力

- 石川県商工会議所連合会
- 石川県商工会連合会
- 石川県経営者協会
- ・石川県中小企業団体中央会
- 金沢経済同方会
- 石川県鉄工機電協会
- 石川県繊維協会
- 石川県食品協会
- 石川県情報システムT業会

#### 産 の役割

- 寄附金拠出(企業)
- 選者委員(人物評価)
- ・事前・事後研修への協力

- 総務部(総務課)
- ・企画振興部(企画課)
- ・文化観光スポーツ部 (国際交流課)
- · 商丁労働部(労働企画課)

#### 官 の役割

- 協議会運営協力
- ●事務局 (学校指導課)
- 奨学金管理
- 協議会運営

#### 【地域協議会による事業運営】 ◆いしかわ高校生グローバル人材育成推進事業

「第3期石川の教育振興基本計画」において、「いし かわに誇りと愛着を持ち、世界と地域に貢献する人材の 育成」を目標に掲げ、石川の魅力を広く世界へ発信する 力や他者と協働する力を身に付けるとともに、文化の異 なる人々の多様性を受容し、幅広い教養や視野を身に付 けたグローバル人材の育成を目指している。

しかし、「トビタテ留学JAPAN!日本代表プログラ ム」の参加者数や、文部科学省実施の「国際交流等の状

| 況調査 | の留学者数を見ると、 本県高校生の海外留学者数は まだまだ少ない状況にあり、 本事業での海外フィールドワ ークなど、自分が身を置く地 域を越えて多様な価値観の中 で行う探究活動に取り組む機 会を诵して、グローバル社会 で活躍する力を身につけよう とする機運を高めていく。



総会の様子



## 地域プログラムの概要(石川県)



#### ◆地域探究コース概要

拠点形成支援事業には「マイ探究コース」「社会探究コース」「スポーツ・芸術探究コース」に加え、 地域特有の課題解決や地域貢献につながるテーマを海外で探究する「地域探究コース」がございます。

**○ふるさといしかわ探究コース** \*個人の他、最大4名までチームを作っての応募も可能

「ふるさと石川」に関する4つの分野から探究課題を設定

(A) **自然・**環境

動植物、豊かな四季 里山里海、川・湖沼 海岸、地質、自然公園 (B) 文化・伝統

文学、思想、茶道、華道 美術、芸能、祭り、方言 漆器、陶芸、染織、金工 (C) **産業** 

農林業、機械・電気 水産業、繊維・化学 観光業、土木・建築 (D) 未来

まちと交通、環境保全 情報化、ボランティア 医療・福祉、国際化



### ◆地域探究コースの留学事例:

茶道や石川県の伝統工芸「加賀水引細工」を通して石川県の魅力を海外に発信し、 外国の方々を石川へ誘致する方法を探り、能登半島地震からの復興に繋げる。

として県教委が作成(H18~) ・本県の全高校生に配布

・ふるさと教育に活用する教科書

#### 国内での活動

#### 〔留学前〕

- ・茶道(経験あり)や加賀水引に関する研究、論文等により 自分の研究テーマについて理解を深め、先行研究と自分の 研究の比較を行い、重要性を確認する。
- ・茶道、水引体験実施のための練習
- ・茶道、水引細工を英語で説明したチラシの作成
- ・茶道の魅力、歴史、楽しみ方を説明するためのスライド、 茶道、水引制作体験後のアンケートを作成

#### 〔留学後〕

- ・留学体験の発信(プレゼンテーション、論文等、留学ブロ グ、SNS)
- 海外で現地の人が体験で制作した水引を文化祭やテナントを開いて販売し、収益金を能登半島地震復興のために寄附

#### 海外での活動

【渡航国】: イギリス

【留学期間】:7月22日~8月11日(21日間)

【留学中の活動内容】

#### 〔茶道〕

- ・茶道に関するプレゼンテーション、茶道体験(アフタ ヌーンティーの文化と比較できるように、アフタヌー ンティーで使うティーカップも利用する)
- ・イベント等に参加することで、イギリスの紅茶文化や 楽しみ方を学び、茶道と比較し、文化比較 〔加賀水引細丁〕
- ・水引キットを使い、制作体験会実施
- ・体験では2つを制作、1つは現地の人にプレゼント、 もう一つは日本へ持ち帰り販売、寄附金にする。
- ・能登半島地震について制作体験前に説明





# 地域プログラムの内容①(石川県)



## 【プログラム内容】

#### 壮行会

事前オリエンテーション



海外留学



事後オリエンテーション



成果発表会

海外留学前には全国から選ばれた仲間と一緒に行う 事前研修の参加が必須になります。

## 【壮行会・事前オリエンテーション】

#### ①壮行式

- 1 協議会会長激励
- 2 文科省激励ビデオメッセージ
- 3 派遣留学生代表決意表明

#### 【出席者】

協議会会員、支援企業、 派遣留学生、派遣留学生保護者 派遣留学生所属校関係者



いしかわ高校生グローバル人材育成 推進協議会会長(教育長)激励



派遣留学生代表 決意表明

#### ②事前オリエンテーション

#### 1 留学計画プレゼンテーション

テーマやキーワードに共通点がある派 遺留学生でグループを作り、留学計画 についてプレゼンし、グループ内の派 遺留学生同士で意見交換した。また、 各グループには、支援企業、協議会会 員、過去のトビタテ生が助言者として 入り、留学計画のブラッシュアップの ための指導を行った。

#### 2 英語研修

地元大学の留学生と英語でペアワーク、グループディスカッションを行い、日本や石川の文化を英語で紹介したり、外国人から見た日本文化、生活習慣に関する疑問について英語で話し合うことで、外国語でコミュニケーションを行うことや、アンバサダー活動への意識を高めた。

3 安全について、注意事項



留学計画プレ ゼンテーション





←英語研修







# 地域プログラムの内容②(石川県)



## 【プログラム内容】

壮行会

事前オリエンテーション



海外留学



事後オリエンテーション



成果発表会

### 【海外留学】

●R6年度派遣留学生 40名(留学期間 最大 82日 最小 14日) 【内訳】 個人36名、2チーム(2名×2チーム=4名)、20校

国	人数			
オーストラリア	7			
イギリス	6			
アメリカ合衆国	5			
カナダ	4			
大韓民国	4			
シンガポール	3			
ニュージーランド	2			
マルタ	2			
ウズベキスタン	1			
カンボジア	1			
ドイツ	1			
フィリピン	1			
フランス	1			
マレーシア	1			
中国	1			
総計	40			

1年	5		
2年	24		
3年	11		

















# 地域プログラムの内容③(石川県)



留学成果プレ

## 【プログラム内容】

壮行会

事前オリエンテーション



海外留学



成果発表会

海外留学後には全国から選ばれた仲間と一緒に行う 事後研修の参加が必須になります。

### 【事後オリエンテーション】

①留学成果プレゼンテーション

テーマやキーワードに共通点がある派遣留学生でグループを作り、海外での体験や探究活動の成果、今後の活動計画についてプレゼンし、グループ内の派遣留学生同士で意見交換を行った。各グループには、支援企業、協議会会員、先輩トビタテ生(以下トビタテ生)が加わり、成果発表会に向けて助言を行った。

②トビタテ派遣留学生同窓組織「とまりぎ」高校ローカル協力企画 「みらプロ〜皆のみらいプロジェクト〜」トビタテ生の同窓生組織「とまりぎ」に協力を依頼し、海外での留学体験をどのようにこの後の人生に活かすかをテーマにしてセッションを行った。トビタテ生が留学経験を活かして取り組んでいる研究やプロジェクト等についての情報提供の後、派遣留学生は今期の海外での探究活動を各自で振り返り、将来どのようなプロジェクトができるかをそれぞれが考案した。その後、2人でペアを組

できるかをそれぞれか考案した。その後、2人でベアを組み、協働してできるプロジェクトについて考え、さらには、

4人、8人とグループを大きくすることで、どのようなことが可能になるか思考を巡らせた。活動を通して、1人ではできることに限界があるかもしれないが、それぞれの良さを持ち寄って協働することで課題解決のより良い方策が見つかったり、コラボ企画によってより大きな課題に挑戦できることを派遣留学生は学ぶことができた。「とまりぎ」からのファシリテーターのほか県内のトビタテ生も加わった。最後に「とまりぎ」についての説明もあり、トビタテ生のネットワークについて学ぶ機会ともなった。

#### ③事務連絡

- (1)成果発表会詳細説明(2)留学成果報告書
- (3) 奨学金支給に係る事務手続き
- (4) 今後の各種行事等への協力依頼

集合写真→







# 地域プログラムの内容④(石川県)



## 【プログラム内容】

壮行会

事前オリエンテーション



海外留学



事後オリエンテーション



留学成果発表会

## 【留学成果発表会】~いしかわ海外留学フェア

海外留学に興味・関心のある中高生、保護者、教員を対象に「いしかわ海外留学フェア」を実施し、派遣留学生全員がそれぞれの留学体験を発表し、参加者とやり取りを行った。協議会会員、支援企業を含め、194名が参加した。

#### ①留学成果ステージ発表

3校より3名がステージ発表を行った。(マイ探究コース 1名、ふるさと石川探究コース2名)それぞれの発表の後 で、支援企業から留学体験や探究活動の内容についての質 疑応答が行われた。



#### ②留学成果パネル発表



ステージ発表を行った3名以外の派遣留学生が、2グループ に分かれそれぞれ2回ずつパネル発表を行った。事前、事後

オリエンテーションでもグループ内で 留学計画や成果を共有したが、他のグ ループの派遣留学生の体験等を聞く機 会がなく、成果発表会では派遣留学生 を2グループに分け、派遣留学生同士



で発表を聞いてやり取りができるようにした。

#### ③留学講演会

本県にゆかりのある先輩トビタテ生によるオンライン講演会を行った。当時の留学体験のほか、留学体験がどのように現在に結びついているのか、どのように進路選択に結びついたか等について講演を行ってもらった。今年度の派遣留学生を含めた参加の中高生にとって身近なロールモデルとなり、留学をどのようにキャリア形成に役立てるのかについて考える機会とした。

#### 4募集説明会

次年度の募集についての説明を行った。会の終了後には、個別相談会を開き、留学に関する疑問や事業への応募について不安に感じていることについて相談する機会をもった。





# 派遣留学生の声(石川県)



### 【派遣留学生(留学の一例①】

・学年:3年

・留学国:カンボジア(20日)

・探究テーマ

『カンボジアの子供達の健康・笑顔を守るため 公衆衛生や音楽でサポートする』 留学中の 様子





#### 【留学前に行った活動】

子供達を対象にした留学計画を立てたものの子供達と接する機会がなかったため、どのように接したら良いのか分かりませんでした。そこで、小松の子ども食堂へボランティアに行き子供達と沢山話すように心がけて活動しました。不安だったことも準備していくことで留学中はすごく自信を持って活動することができました。

#### 【留学中に行ったこと】

貧困地域のインタビューや病院見学・公衆衛生・チャイルドケアなどを行いました。 はじめは可哀想だと思っていました。実際、現地の活動で、子供達の歯は黒かったり、 病院では医師・看護師の人材不足のため家族が24時間看病していたりと健康に安心し て暮らせる環境はまだ整ってはいない状況を目の当たりにしました。しかし、現地の 人々は明るく元気で、すごく温かくて可哀想と言う言葉は違いました。また、今の生 活に満足しているなどとおしゃっている方もいて"幸せの価値観"について学ぶことが できました。

#### 留学前



#### 【留学を通して成長したこと】

留学に行く前に沢山の準備があり大変なこともありましたが、この準備期間があったから留学中は失敗しても挫折することなく深く学び・気づくことができたと思います。また、離れていても共に頑張っている仲間がいることがどれほど心強いかを感じることができました。留学に行っている自分と行っていない自分は大きく違ったと思います。留学に行ったから気づくことなどを大切にし、これからの生活も幅広い視野を持っていきたいです。



# 派遣留学生の声(石川県)



### 【派遣留学生留学の一例②】

・学年:1年

留学国:イギリス(3週間)

・探究テーマ

茶道や石川県伝統工芸加賀水引細工 を通して石川県の魅力を海外に発信 し、外国の方々を石川へ誘致する方 法を探り、能登半島地震の復興に繋 げる



アンバサダー活動 水引づくり体験





留学中のベストショット

#### (応募理由)

令和6年元日に起こった能登半島地震により沢山の命が失われ、命の大切さについて再度考える機会となり、この命を大切に、自分にできることをチャレンジしたいと強く思ったため。

#### (アンバサダー活動)

水引を留学先の生徒と共に作成し、一人につき二個作成した後、一つは作成者にプレゼントし、もう一つは日本に持ち帰り、学校の文化祭やテナントを開いて販売し、その収益金を能登半島地震の復興支援のために寄付した。また、茶道を継承し、海外の方々と日本人の心や文化の違いを探究した。

#### (エヴァンジェリスト活動)

放課後に中学生に留学体験記としてプレゼンを行った。

#### (留学を通して学んだこと)

自分は今回の留学を通し、留学は挑戦するきっかけを与えてくれる存在であり、それを挑戦し乗り越えるからこそそこに新たな価値が生まれるということを学んだ。また、学生が社会のために行動し、貢献することは可能であり、それが誰かの希望、支えになるということを今回の留学を通して思い知らされたので、留学に行った甲斐があったと強く思った。



# 派遣留学生の声(石川県)



## 【派遣留学生の振り返りより】

- ・この体験は私の生涯においてとても大きな出来事となり、自身の将来の夢への 第1歩を踏み出すことが出来ました。更に、留学でとても大切な仲間が沢山でき、 とても充実した留学生活を送ることが出来ました。
- ・今までは物事を考えるときに狭いスケールで考えていたけれど、留学を通して世界の様々な価値観に触れることができ、国際的な視野で物事を見ることができるようになりました。 日本を客観的に見ることができるようになりました。
- ・さまざまな国がある中で、個々の探求したい目的があり留学しており、共有する のは大変意義深いと感じたし、客観的に物事を捉える力がついた。留学中は日本 人がいなかったため、自分一人で全てをする必要があり、自信や行動力が飛躍した。



- ・今は何でもできる自信がある!留学も大切だけれども、それよりもそこまでの過程 やその後に行う事後研修などが経験値を上げるということがわかった。
- ・留学は私にとって本当に人生の財産になったと言える経験でした。世界は広いんだと痛感したし、自分が今まで生きてきた世界がいかに閉鎖的かを痛感せざるを得ませんでした。しかしその中に潜む石川の雅をよくよくと感じ、故郷に対する愛も深まりました。人生を変える留学となりました。
- ・初めて海外で生活する、初めて両親から離れて生活するという経験を通して、自立 心はもちろん、行動力、積極性が以前と比べて増したと感じています。また、視野 が大きく広がり、たくさんの情報から取捨選択をし、自分なりの答えや考えを見つ け出す力が付いたと思います。そして何よりも留学という今までの人生で最も大き な挑戦を無事に終えることができて大きな自信がつきました!!



## 地域の声(石川県)



## 【支援企業】

支援企業からは、派遣留学生選考審査、事前・事後オリエンテーション、海外留学フェア(留学成果発表会)のすべての行事においてご協力をいただくことができた。選考審査では審査員として選考に携わっていただき、オリエンテーションや発表会では、派遣留学生の発表に対して助言をいただくことで、派遣留学生の学びの質の向上に大きく貢献していただいた。

#### 《支援企業からの声》

- ・将来の石川県の人材育成に協力したいとの思いから支援することを決めました。本事業で留学した学生に、将来、地域産業や地域経済に活躍してもらいたい。
- ・これからの未来を創る学生さんに、企業人としての経験や知見などをお伝えし、将来人生に少しでも活かせてもらえればとの思いで、参加しております。留学に自ら手を上げた生徒さんらしく、皆さん自身のテーマについて、よく勉強し、調査し、上手にまとめ、発表ができていたと感心しております。選考審査の質疑応答、オリエンテーションにおけるプレゼン、最後の成果発表まで、資料内容の出来も上がり、プレゼンでもうまく伝えることができており、成長を感じました。



海外留学フェアでの発表へ助言

- ・若いうちに、多様な経験を重ね、視座を高くし、グローバルな感覚を身に付けることが、大切であり、国際感覚が、既存の伝統産業を含め、様々な場面で、今後有効となり、また、海外への情報発信の一助にもなると思い、ご支援させて頂きました。 壮行式に参加させて頂きましたが、派遣留学生の高校生の方々は、初めての海外留学で、期待と不安が入り混じった気持ちだったかと思いますが、それ以上に、異文化に触れ、自ら成し遂げたいという熱い思いを感じることができました。この経験は、きっと社会に出た後に、大いに役立つことと思います。グローバルな感性を身に付け、そこで、日本の良さ、素晴らしさを改めて認識され、海外の方々に発信されていくことを期待しております。
- ・社会貢献の一環として支援させて頂きました。非常に良い取り組みで、私が発表を聞いた限りでは、 留学前の想定や留学初期にうまくいかなかったことを切り替えて別の行動をとる、粘り強く対応する などサイクルを回しているのが見て取れる学生ばかりで感心しました。プレゼン資料の作り方も、特 に情報を入れすぎないようにしており発表資料がわかり良かったです。全体プレゼンでも少人数プレ ゼンでもハキハキと話している学生ばかりで、それだけ良い経験をした証拠のように感じられました。

また、支援企業に限らず広く情報を事業の成果を共有するため、いしかわ産業教育フェア等の機会を活用し、情報発信を行った。

産業教育フェアでの発表



## 地域の声(石川県)

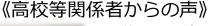


## 【高等学校関係者】

応募や奨学金支給手続きにあたり、派遣留学生の支援で大きな協力を得た。留学計画の作成や探究活動、発表会に向けた指導についても、各学校で派遣留学生をサポートしていただいた。留学成果の波及という面においても、学年集会での発表や、成果物の校内掲示、次年度応募に向けた募集説明会等、様々な取り組みが見られた。



各校での応募説明会で発表





校内掲示

- ・語学への興味が増し、学習にさらに積極的に取り組むようになった。また、留学体験をいろいるな場面で話すことにより、自信がついたようだ。自分から、機会があれば後輩の前で発表したいと申し出ている。
- ・留学エージェント探しから、留学計画の作成、現地での探究活動、留学体験報告など、全ての ことをほぼ一人でやり遂げたことで自分に自信を持つことが出来た様子である。進路について も、妥協せず、挑戦し、夢を叶えようとする姿が見られる。



全校集会での発表

## 【大学等】

大学コンソーシアム事務局を経由し、派遣留学生の選考審査や、事前・事後オリエンテーションでの派 遣留学生の留学計画や留学生成果に関するプレゼンテーションに対して助言を行ってもらった。また、留 学計画を作成する段階で、探究テーマについてより専門的な角度から助言を受けたり、留学エージェント でプランをあまり扱っていない国で探究活動の受入先を探す際に、コンタクト先を紹介してもらうなど、 様々な面で協力をいただくことができた。

#### 《大学関係者からの声》

・派遣する側から、派遣留学生のチャレンジを見える化する仕組みを作ることができると、大学側としても大いに評価できる可能性が高まると感じています。先輩に続く後輩たちや応援してくださった企業様、加えて、この仕組みを応援してくださるすべての県民の皆様が、彼らのチャレンジについて知るオンデマンドの報告会動画等や提出資料の閲覧ができると素晴らしいと思います。また、大学コンソーシアム石川の留学制度との繋がりを拡大するために、例えば、高校生を交えたグローバルカフェ(留学者や外国籍の方、企業の方などがフラットに交流する機会)などが開催されるとよいと考えています。大学生の留学報告会の情報が届くよう、何かよいネットワークが作れると嬉しいと考えています。



助言の様子

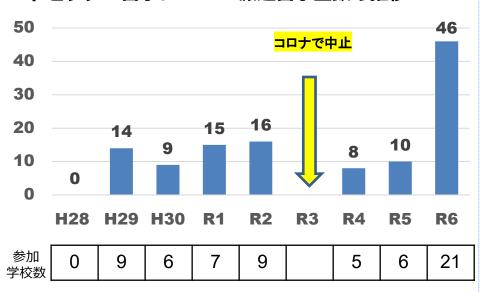


## 地域プログラムの成果(石川県)



## 【県全体の留学機運醸成の進捗】

#### ● トビタテ!留学JAPAN 派遣留学生数の推移



#### ●海外留学フェア参加者数の推移

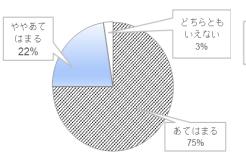
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
参加者数	75	57	119	57	40	89	56	66	194

R6年度「いしかわ海外留学フェア」は、 これまでの「石川県海外留学フェア」を 一新し、派遣留学生の留学成果発表会と して実施

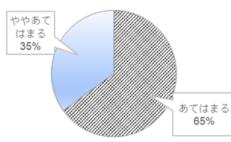


### 【**派遣留学生のデータ**】 (アンケートより)

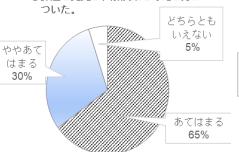
①自分の意見を発信する力が高まった。



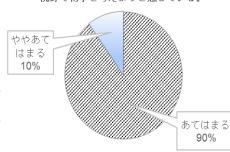
②外国語のコミュニケーションスキルが 高まった。



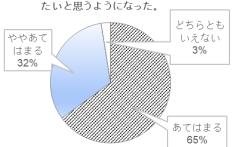
③課題を発見し、解決策を考える力が



④異なる文化や価値観を持つ人たちとコ ミュニケーションをとることで、広い 視野で物事を考えようと感じている。



⑤ ふるさと石川の自然・環境、文化・ 伝統、産業、未来についてもっと知り



⑥地域貢献をしたいと思うようになった。





## 支援企業一覧(石川県)

令和7年3月1日時点



## 【支援企業一覧】(50音順)

(株) アイ・オー・データ機器

石川県信用金庫協会

(株)石野製作所

(株)板尾鉄工所

EIZO(株)

金沢ホテル懇話会

協和道路(株)

(株)キョー・エイ

(株)久世ベローズ工業所

小中出建設(株)

小前田運輸(株)

(株) 小松製作所

小松ウォール工業(株)

(株) COM-ONE

サイバーステーション(株)

サンコロナ小田(株)小松本店

(株)システムサポート

(株) スギヨ

大和八ウス工業(株)北陸支社

タガミ・イーエクス(株)

津田駒工業(株)

中村留精密工業(株)

(株)PFU

(株)フクズミ

(株)フジセイカ

ホクショー(株)

(株)北都鉄工

北陸通信ネットワーク(株)

(株)北國ファイナンシャルホールディ

ングス

(株)丸西組

三谷産業(株)

宮本産業(株)

明和工業(株)

(株) 横山商会

米沢電気工事(株)

(株) 六星

(株) 輪島丸善